

目指す方向性

互いの人格や多様性、個性の尊重 + 環境の整備 + 障害者理解の促進 ↓ 共生社会の形成
 可能性を生かす・引き出す教育 + 「わかる」・「できる」喜び ↓ 子どもたちの「生きる力」

「(仮称)北九州市特別支援教育推進プラン」案の体系

課題

- ◆ 特別支援教育の対象となる児童生徒数の増加に伴う施設・設備等の整備
- ◆ 特別支援教育に係る国内外の動向等を踏まえた施策の充実
- ◆ 教員の専門性の向上
- ◆ 多面的な指導・支援の充実 など

市民等のニーズ・期待

- ▶ アンケート調査の実施
 - 【企業】
 - ・ 企業への情報発信の在り方 など
 - 【特別支援教育コーディネーター】
 - ・ 校内支援体制の充実・強化
 - ・ 教員の研修内容の充実 など
 - 【保護者】
 - ・ 相談窓口の明確化
 - ・ 教員の専門性の向上
 - ・ 施設・設備の整備 など
- ▶ 「北九州市特別支援教育の在り方検討会議」
 - ・ 関係機関同士の連携強化
 - ・ 早期支援の充実
 - ・ 障害者理解の促進 など

【プランの位置付け、趣旨及び期間】

- ・ 平成29年度から概ね10年後を見据えた特別支援教育の方向性を示す。
- ・ 課題等を中長期的に改善していくためのプランを策定。
- ・ 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」で示した方向性や目標をより具体化。

5つの視点

1. 一人一人に着目した連続性のある指導・支援の充実

- 合理的配慮の実践の蓄積
- 子どもが得意なことを生かす教育
- 芸術・文化等に接する機会の確保
- 特別支援学校における読書活動の促進
- 作業学習プログラムの充実
- 就労支援の充実 など

2. 相談支援体制の整備

- 分かりやすい相談窓口の提示
- 保護者の同意に基づく検査内容や相談内容の共有
- 就学先決定の仕組み等に関する情報提供の充実
- プラン策定後のチェック体制の構築 など

3. 教員の専門性の向上、外部人材等の活用

- 教職員全体の理解促進（「チーム学校」の観点）
- 各種研修に様々な人材が参加できる体制づくり
- 地域の教育資源の組合せによる多面的な支援の充実
- 就学前期の指導・支援の充実 など

4. 障害者理解の促進

- 人権意識の向上
- 子どもたちの頑張る姿を社会にPRする機会の確保
- 市民との協働による教材・教具の作成 など

5. 施設・設備面の整備

- 特別支援学校の再編整備（西部地域を含む。）
- 施設・設備面の整備
- ICT機器等の時代に合った教育環境の整備 など